

川崎医療福祉大学学則

第1章 総 則

第1節 目 的

(目 的)

第1条 本学は教育基本法及び学校教育法に基づき、医療と福祉の両分野にまたがる高い知識と優れた技能を併せ備えた有能にして社会の要請に応え得る有為な人材を養成することを目的とする。

2 本学は、学部又は学科ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

(名称ならびに所在地)

第1条の2 本学は川崎医療福祉大学と称し、岡山県倉敷市松島288番地に置く。

第2節 自己評価

(自己評価)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行うものとする。

2 自己評価を行うため、本学に自己点検・評価委員会を置く。

3 自己点検・評価委員会に関する規程は別に定める。

第3節 組 織

(学部、学科及び学生定員)

第3条 本学に次の学部を置く。

医療福祉学部、保健看護学部、リハビリテーション学部、医療技術学部、医療福祉マネジメント学部

2 前項の各学部置く学科、専攻及びその学生定員は、次のとおりとする。

| 学 部 | 学 科 | 入学定員 | 編入学定員 (3年次) | 収容定員 |
|--------------------------|-----------|------|----------------|------|
| 医 療 福 祉 学 部 | 医療福祉学科 | 136名 | 10名 | 564名 |
| | 臨床心理学科 | 80名 | 5名 | 330名 |
| | 医療保育学科 | 80名 | 2名 | 324名 |
| 保 健 看 護 学 部 | 保健看護学科 | 120名 | — | 480名 |
| リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 部 | 理学療法学科 | 60名 | — | 240名 |
| | 作業療法学科 | 60名 | — | 240名 |
| | 言語聴覚療法学科 | 60名 | — | 240名 |
| | 視能療法学科 | 40名 | — | 160名 |
| 医 療 技 術 学 部 | 臨床検査学科 | 60名 | — | 240名 |
| | 診療放射線技術学科 | 60名 | — | 240名 |
| | 臨床工学科 | 80名 | — | 320名 |
| | 臨床栄養学科 | 50名 | 3名 | 206名 |
| | 健康体育学科 | 80名 | 3名 | 326名 |

| | | | | |
|------------------|---------------|-----|----|------|
| 医療福祉 マネジメント学部 | 医療データサイエンス学科 | 60名 | 3名 | 246名 |
| | 医療コミュニケーション学科 | 60名 | 2名 | 244名 |
| | 医療福祉デザイン学科 | 40名 | 2名 | 164名 |

(附属図書館)

第4条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規程は別に定める。

第4節 職員組織

(職員組織)

第5条 本学に学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

2 学長を補佐するため、必要と認めた場合は、学長補佐及び副学長補佐を置くことができる。

3 前項に規定する職員に関する規程は別に定める。

第5節 大学運営委員会

(大学運営委員会)

第6条 大学の管理運営に関する重要事項を審議するため本学に大学運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会は学長を委員長とし、副学長、学長補佐、学部長、大学院研究科長、副学長補佐及び事務部長をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、学園の教職員を加えることができる。

3 運営委員会に関する規程は別に定める。

第6節 教授会

(教授会)

第7条 本学に、教育研究に関する重要事項を審議するため各学部に教授会を置き、学長、学部長及び専任教授をもって構成する。

2 学長が必要と認めた場合は、専任の准教授を加えることができる。

3 教授会は、次の事項について学長が決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関すること。

(2) 学位の授与に関すること。

(3) その他本学の教育研究に関する重要事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。

4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 教育研究について全学に関わる重要事項を協議調整するため、合同教授会を置くことができる。

6 教授会及び合同教授会に関する規程は別に定める。

第7節 学年、学期及び休業日

(学 年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第9条 学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から3月31日まで

(休業日)

第10条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める日
- (3) 春季休業 3月20日から3月31日まで
- (4) 夏季休業 8月8日から9月30日まで
- (5) 冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで
- (6) 学園創立記念日 6月1日

2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第11条 学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第12条 学生は8年をこえて在学することができない。ただし、第18条、第19条及び第20条の規定により入学した学生は、第21条により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数をこえて在学することができない。

第2節 入学

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第14条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者で、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

(入学の出願)

第15条 本学に入學を志願する者は、入學願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第16条 前条の入學志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入學手続き及び入學許可)

第17条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入學誓約書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入學金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入學手続きを完了した者に入學を許可する。

3 入學手続きについて必要な事項は別に定める。

(編入學)

第18条 編入學できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とし、選考の上、3年次へ編入學を許可する。

(1) 大學を卒業した者又は大學に2年以上在學し、当該大學において62単位以上修得している者

(2) 短期大學を卒業した者又は高等専門學校を卒業した者

(3) 學校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に規定する者

(4) 専修學校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、學校教育法第90条に規定する大學入學資格を有する者に限る。）

2 編入學定員を定めていない学科等へ編入學を志願し、前項の各号のいずれかに該当する者があるときは、当該学科等の2年次以降に欠員がある場合に限り、選考の上、相当年次に入學を許可することができる。

(轉入學)

第19条 他の大學に在學している者で、本學への入學を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入學を許可することができる。

(再入學)

第20条 第38条の規定により、退學した者で、同一学科に再入學を志願する者があるときは、相当年次に入學を許可することができる。

(編入學等の場合の取扱い)

第21条 第18条、第19条および第20条の規定により入學を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在學すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

(轉学部・轉学科)

第22条 學生が所属学部から他へ轉部しようとするときは、教育上支障のない場合は当該教授会の議を経て、学長が許可することがある。

2 學生が所属学部内において他学科への轉科しようとするときは、教育上支障のない場合は当該教授会の議を経て、学長が許可することがある。

第3節 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第23条 授業科目を分けて、基礎教育科目及び専門科目とする。

2 授業科目の種類及び単位数等は、別表1のとおりとする。

3 1年間に履修登録できる単位数には、上限を設定する。

(授業の方法)

第23条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により

行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(単位)

第24条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位として計算するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な時間数を考慮して1単位とする。

(授業期間)

第25条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

(単位の授与)

第26条 授業科目を履修した者について、大学が定める適切な方法により学修の成果の評価を行い、所定の単位を与える。

(教育職員免許)

第27条 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める単位を修得しなければならない。

2 本学の学部学科において、当該所要資格を取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりである。

| 学 部 | 学 科 | 教育職員の免許状の種類（免許教科） |
|-------------|--------|--|
| 医 療 福 祉 学 部 | 医療福祉学科 | <ソーシャルワークコース> 高等学校教諭一種免許状（福祉） <初等・特別支援教育コース> 小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状（視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者に関する教育の領域） |
| | 医療保育学科 | 幼稚園教諭一種免許状 |
| 医 療 技 術 学 部 | 臨床栄養学科 | 栄養教諭一種免許状 |
| | 健康体育学科 | 中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健） 養護教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状（肢体不自由者・病弱者に関する教育の領域） |

(学修の成果の評価)

第28条 学修の成果の評価は、秀、優、良、可、不可とし、評価が秀、優、良、可の科目に対し、単位を認定する。

(他大学等における授業科目の履修)

第29条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て、60単位を限度として卒業の要件となる単位として学長が認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第30条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条第2項により修得したものと認めた単位と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第31条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)及び前条第1項に規定する学修を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、60単位を超えないものとする。

(他大学等における授業科目の履修及び入学前の既修得単位等の認定の上限について)

第31条の2 第29条第2項、第30条第2項及び第31条第2項により、卒業要件となる単位とみなすことのできる単位数の上限は、合わせて60単位を超えないものとする。ただし、転入学、編入学等の場合はこの限りではない。

(その他)

第32条 この節に定めるもののほか、履修方法等については、別に定めるところによる。

第4節 休学・転学・留学及び退学

(休学)

第33条 疾病その他特別の理由により2月以上修学することができない者は、医師の診断書又は詳細な理由書を添え、保証人連署をもって学長に願い出、許可を得て休学することができる。

2 疾病その他特別の理由により修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第34条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があると認められるときは、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年をこえることができない。

3 休学期間は、第12条の在学期間には算入しない。

(復学)

第35条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第36条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第37条 外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第40条に定める在学期間に含めることができる。

3 第29条第2項の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。

(退 学)

第38条 疾病その他の理由により退学しようとする者は、医師の診断書又は詳細な理由書を添え、保証人連署をもって学長に願い出、許可を受けなければならない。

(除 籍)

第39条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第12条に定める在学年限をこえた者
- (3) 第34条第2項に定める休学期間をこえてなお修学できない者
- (4) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第5節 卒業及び学位

(卒 業)

第40条 第11条により定められた修業年限（第18条、第19条及び第20条の規定により入学した者については、第21条により定められた在学すべき年数）以上本学に在学し、別表2に規定する各学科所定の卒業に必要な単位以上を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。
- 3 本学に3年以上在学した者が、卒業に必要な所定の単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、第11条の規定にかかわらず、当該学部の教授会の議を経て、学長が早期卒業を認定し、卒業証書を授与することができる。
- 4 前項の早期卒業に関する規程は、別に定める。

(学 位)

第41条 卒業した者には、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

| | | | |
|-------------------------|-------------|--------------------------|------------------------|
| 医 療 福 祉 学 部 | 医療福祉学科 | 学士（医療福祉学） 学士（医療福祉教育学） | |
| | 臨床心理学科 | 学士（臨床心理学） | |
| | 医療保育学科 | 学士（医療保育学） | |
| 保 健 看 護 学 部 | 保健看護学科 | 学士（保健看護学） | |
| | リハビリテーション学部 | 理学療法学科 作業療法学科 | 学士（理学療法学） 学士（作業療法学） |
| | | 言語聴覚療法学科 | 学士（言語聴覚療法学） |
| 医 療 技 術 学 部 | | 視能療法学科 | 学士（視能療法学） |
| | | 臨床検査学科 | 学士（臨床検査学） |
| | | 診療放射線技術学科 | 学士（診療放射線技術学） |
| | | 臨床工学科 | 学士（臨床工学） |
| | | 臨床栄養学科 | 学士（臨床栄養学） |
| 医 療 福 祉 マ ネ ジ メ ン ト 学 部 | | 健康体育学科 | 学士（健康体育学） |
| | | 医療データサイエンス学科 | 学士（医療データサイエンス学） |
| | | 医療コミュニケーション学科 | 学士（医療コミュニケーション学） |
| | | 医療福祉デザイン学科 | 学士（医療福祉デザイン学） |

第6節 賞 罰

(表 彰)

第42条 学生が学業成績及び性行が特に優秀で他の学生の模範とするに足る者があるときは、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲 戒)

第43条 本学の規則に違反し、又は学生の本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第7節 研究生、科目等履修生、委託生、特別聴講学生及び外国人留学生

(研究生)

第44条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

(科目等履修生)

第45条 本学において、特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

(委託生)

第46条 本学において、官公庁、学校、団体等からその所属する職員に特定の専門事項について研究させるため委託があるときは、教育研究に支障がない場合に限り、選考の上、委託生として入学を許可することができる。

(特別聴講学生)

第47条 他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第48条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

(研究生等に関する規程)

第49条 研究生、科目等履修生、委託生、特別聴講学生及び外国人留学生に関する規程は、別に定める。

第8節 検定料、入学金及び授業料等

(検定料)

第50条 本学に入学を志望する者の検定料は、別に定める。

(入学金)

第51条 本学に入学を許可された者は、入学金として300,000円を納付しなければならない。

(授業料等)

第52条 本学の授業料は、年額で次のとおりとし、別に定める期日までに納付しなければならない。ただし、4月

及び9月の2回に分けて納付することができる。

| | | |
|--------------|---------------|------------|
| 医療福祉学部 | 医療福祉学科 | 700,000円 |
| | 臨床心理学科 | 700,000円 |
| | 医療保育学科 | 700,000円 |
| 保健看護学部 | 保健看護学科 | 1,000,000円 |
| リハビリテーション学部 | 理学療法学科 | 1,000,000円 |
| | 作業療法学科 | 1,000,000円 |
| | 言語聴覚療法学科 | 1,000,000円 |
| | 視能療法学科 | 1,000,000円 |
| 医療技術学部 | 臨床検査学科 | 1,000,000円 |
| | 診療放射線技術学科 | 1,000,000円 |
| | 臨床工学科 | 1,000,000円 |
| | 臨床栄養学科 | 1,000,000円 |
| | 健康体育学科 | 1,000,000円 |
| 医療福祉マネジメント学部 | 医療データサイエンス学科 | 700,000円 |
| | 医療コミュニケーション学科 | 700,000円 |
| | 医療福祉デザイン学科 | 700,000円 |

2 演習及び実習並びに教職課程履修に要する費用は別に徴収する。

3 休学した学生については、当該期間中の授業料等を免除する。ただし、休学又は復学した日の属する年度の授業料等についてはこの限りでない。退学又は除籍された場合も同様とする。

(授業料の減免及び徴収の猶予)

第53条 学業成績優秀と認められる学生で、経済的理由によって学資の納付が極めて困難と認められる者には、授業料の全額若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

(既納の検定料・入学金及び授業料等)

第54条 既納の検定料、入学金、授業料等は返還しない。

2 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、返還することができる。

(1) 休学又は退学により年度の全期間在学しなかった場合における、既納した当該年度の授業料等

(2) 入学を志願し所定の入学金及び授業料等を納付した者が、所定の期日までに入学辞退届を提出した場合における、入学金を除いた授業料等

(3) その他、学長が特別に認めた場合

第9節 公開講座

(公開講座)

第55条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し、必要な事項は別に定める。

第10節 学則の改廃

(学則の改廃)

第56条 この学則の改廃は、学長が発議し、理事会が行う。

附 則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第45条は、平成4年度の入学を志願する者から適用する。

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第52条（授業料等）、別表1－(1)共通科目及び別表2卒業に必要な単位数は、平成7年度入学生から適用する。
- 2 この学則の施行日前に入学した者にかかる共通科目は別表3－(1)、卒業に必要な単位数は別表4をそれぞれ適用する。
- 3 医療福祉学科、感覚矯正学科の学生で平成3年度、平成4年度及び平成5年度に入学した者にかかる専門科目は、別表3－(2)を適用する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、別表1及び別表2は、平成11年度入学生から適用する。
- 2 この学則の施行日前に入学した者にかかる授業科目及び卒業に必要な単位数は、別表3及び別表4を適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、この学則の施行日前に入学した者について、別に定めるところにより、別表1を適用することができる。
- 4 この学則の施行日以降に本学へ編入学した者にかかる別表の規定の適用は、当該者の属する年次に在学する者にかかる別表の規定の適用の例による。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第22条については平成16年1月15日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 医療福祉学部医療福祉マネジメント学科、同学部医療福祉環境デザイン学科、医療技術学部医療情報学科は、平成17年4月1日から学生募集を停止する。ただし、3年次編入学は、平成19年4月1日から学生募集を停止する。
- 3 この学則施行の際、医療福祉学部医療福祉マネジメント学科、同学部医療福祉環境デザイン学科及び

医療技術学部医療情報学科に在籍する学生に対しては、なお従前の学則を適用する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、第52条（授業料等）、別表1は、平成20年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、別表1－（1）基礎教育科目、別表1－（2）専門科目及び別表2卒業に必要な単位数については、平成21年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、別表1－（1）基礎教育科目、別表1－（2）専門科目及び別表2卒業に必要な単位数については、平成22年度入学生から適用する。
- 2 医療福祉学部医療福祉マネジメント学科及び同学部医療福祉環境デザイン学科は、平成22年3月31日をもって廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、別表1－（2）専門科目及び別表2卒業に必要な単位数については、平成23年度入学生から適用する。
- 2 医療技術学部医療情報学科は、平成23年3月31日をもって廃止する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、別表1－（2）専門科目については、平成24年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成24年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、別表1－（1）基礎教育科目、別表1－（2）専門科目及び別表1－（3）教職科目については、平成26年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、別表1－（2）専門科目については、平成27年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、別表1－（2）専門科目については、平成28年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、別表1－（1）基礎教育科目、別表1－（2）専門科目、別表1－（4）教職科目及び別表2卒業に必要な単位数については、平成29年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、別表1－（1）基礎教育科目及び別表1－（2）

専門科目については、平成30年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、第28条および、別表1－(1)基礎教育科目、別表1－(2)専門科目、別表1－(3)教職科目及び別表2卒業に必要な単位数については、平成31年度入学生から適用する。
- 2 医療福祉学部保健看護学科、医療技術学部感覚矯正学科及び同学部リハビリテーション学科は、平成31年4月1日から学生募集を停止する。ただし、3年次編入学は、平成33年4月1日から学生募集を停止する。
- 3 この学則施行の際、医療福祉学部保健看護学科、医療技術学部感覚矯正学科及び同学部リハビリテーション学科に在籍する学生に対しては、なお従前の学則を適用する。

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。ただし、第27条(教育職員免許)第2項、第52条(授業料等)および別表1－(2)専門科目については、令和2年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第27条(教育職員免許)第2項、別表1－(2)専門科目については、令和3年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、別表1－(1)基礎教育科目及び別表1－(2)専門科目及び別表1－(3)教職科目については、令和4年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、別表1－(2)専門科目については、令和5年度入学生から適用する。
- 2 医療福祉学部保健看護学科は、令和5年3月31日をもって廃止する。

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。ただし、別表1－(2)専門科目、第40条第3項及び第40条第4項については、令和6年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和6年10月1日から施行する。
- 2 医療技術学部感覚矯正学科及び同学部リハビリテーション学科は、令和6年9月30日をもって廃止する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、別表1－(2)専門科目、別表1－(3)教職科目及び別表2卒業に必要な単位数については、令和7年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。ただし、別表1－(1)基礎教育科目、別表1－(2)専門科目、別表1－(3)教職科目及び別表2卒業に必要な単位数については、令和8年度入学生から適用する。
- 2 医療福祉マネジメント学部医療福祉経営学科は、令和8年4月1日から学生募集を停止する。
- 3 この学則施行の際、医療福祉マネジメント学部医療福祉経営学科に在籍する学生に対しては、なお従前の学則を適用する。

別表1 - (1) 基礎教育科目

| 学科等の名称 | 授業科目 | | 単位 | |
|---|-------------|-------------------|----|----|
| | | | 必修 | 選択 |
| 医療福祉学部 ・医療福祉学科 ・臨床心理学科 ・医療保育学科 | 医療福祉分野 | 医療福祉の源流 | 2 | |
| | | 入門医学概論 | 2 | |
| | | 医療福祉学概論 | 2 | |
| | | 生命倫理学 | 2 | |
| 保健看護学部 ・保健看護学科 | 教養分野 | 文章表現 | 2 | |
| | | 医療福祉の歴史 | | 2 |
| | | 哲学 | | 2 |
| | | 心理学 | | 2 |
| | | 教育学 | | 2 |
| | | 日本国憲法 | | 2 |
| | | 社会学 | | 2 |
| | | 人類学 | | 2 |
| | | 数学 | | 2 |
| | | 統計学 | | 2 |
| | | 物理学 | | 2 |
| | | 化学 | | 2 |
| 医療技術学部 ・臨床検査学科 ・診療放射線技術学科 ・臨床工学科 ・臨床栄養学科 ・健康体育学科 | コミュニケーション分野 | 総合英語 | 2 | |
| | | 実践英語 | 2 | |
| | | アカデミック・イングリッシュ | | 2 |
| | | グローバル・コミュニケーション | | 2 |
| 医療福祉マネジメント学部 ・医療データサイエンス学科 ・医療コミュニケーション学科 ・医療福祉デザイン学科 | コミュニケーション分野 | コミュニケーション論 | | 2 |
| | | プレゼンテーション入門 | | 2 |
| | | 日本語コミュニケーション | | 2 |
| | | 視覚・聴覚障害者コミュニケーション | | 2 |
| 健康体育分野 | 健康体育分野 | 健康体育リテラシー | 1 | |
| | | 健康体育基礎演習 | 1 | |
| | | 健康体育実技（スポーツ系） | | 1 |
| | | 健康体育実技（フィットネス系） | | 1 |
| | | 健康体育実技（レクリエーション系） | | 1 |
| | | 健康体育実技（パラスポーツ） | | 1 |
| エディンスタ分サイ野イ | エディンスタ分サイ野イ | 情報基礎リテラシー | 2 | |
| | | データサイエンス | 2 | |
| | | ソフトウェアリテラシー | | 2 |
| | | 医療情報学入門 | | 2 |
| 総合分野 | 総合分野 | 和の伝統文化 | | 2 |
| | | 異文化理解 | | 2 |
| | | 持続可能な社会に向けて | | 2 |
| | | 自閉症の理解と支援 | | 2 |
| | | ボランティア入門 | | 2 |
| | | 生命科学 | | 2 |
| | | 健康科学論 | | 2 |
| | | ヒューマンセクシャリティー論 | | 2 |
| 海外研修 | | 2 | | |

別表1- (2) 専門科目

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|---------------------------------------|--|-----|---|---|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 医療福祉学科 ソーシャル ワークコース | 医 学 概 論 | 2 | | スクールソーシャルワーク実習指導 | 1 | |
| | 基 礎 医 学 I | 1 | | スクールソーシャルワーク実習 | 2 | |
| | 基 礎 医 学 II | 1 | | 医療ソーシャルワークの基盤 | 2 | |
| | 基 礎 医 学 III | 1 | | 医療ソーシャルワーク論 I | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 入 門 | 1 | | 医療ソーシャルワーク論 II | 2 | |
| | 介 護 福 祉 理 論 と 技 術 | 2 | | 医療ソーシャルワーク実習指導 I | 1 | |
| | 患 者 学 | 1 | | 医療ソーシャルワーク実習指導 II | 1 | |
| | 公 衆 衛 生 学 | 2 | | 医療ソーシャルワーク実習指導 III | 1 | |
| | 家 族 社 会 学 | 2 | | 医療ソーシャルワーク実習 | 2 | |
| | 医 療 福 祉 と 法 律 | 2 | | 精神医学と精神医療 I | 2 | |
| | 発 達 心 理 学 | 2 | | 精神医学と精神医療 II | 2 | |
| | 老 人 心 理 学 | 2 | | 現代の精神保健の課題と支援 I | 2 | |
| | リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 論 | 2 | | 現代の精神保健の課題と支援 II | 2 | |
| | レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導 法 | 1 | | 精神障害リハビリテーション論 | 2 | |
| | イ ン タ ー プ ロ フ ェ ッ シ ョ ン 演 習 | 1 | | 精神保健ソーシャルワークの理論と方法 I | 2 | |
| | 遺 伝 カ ウ ン セ リ ン グ 入 門 | 1 | | 精神保健ソーシャルワークの理論と方法 II | 2 | |
| | 社 会 福 祉 の 原 理 と 政 策 I | 2 | | 精神保健福祉制度論 | 2 | |
| | 社 会 福 祉 の 原 理 と 政 策 II | 2 | | 精神保健福祉の原理 I | 2 | |
| | 社 会 保 障 I | 2 | | 精神保健福祉の原理 II | 2 | |
| | 社 会 保 障 II | 2 | | 精神保健ソーシャルワーク実習指導 I | 1 | |
| | 社 会 学 と 社 会 シ ス テ ム | 2 | | 精神保健ソーシャルワーク実習指導 II | 1 | |
| | 心 理 学 と 心 理 的 支 援 | 2 | | 精神保健ソーシャルワーク実習指導 III | 1 | |
| | 高 齢 者 福 祉 | 2 | | 精神保健ソーシャルワーク演習 I | 1 | |
| | 障 害 者 福 祉 | 2 | | 精神保健ソーシャルワーク演習 II | 1 | |
| | 児 童 ・ 家 庭 福 祉 | 2 | | 精神保健ソーシャルワーク演習 III | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 基 盤 と 専 門 職 | 2 | | 精神保健ソーシャルワーク実習 | 4 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 基 盤 と 専 門 職 (専 門) | 2 | | 自 閉 症 概 論 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 I | 2 | | 自 閉 症 支 援 論 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 II | 2 | | TEACCH プ ロ グ ラ ム 概 論 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 (専 門) I | 2 | | 構 造 化 演 習 | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 (専 門) II | 2 | | 人 間 工 学 | 2 | |
| | 地 域 福 祉 と 包 括 的 支 援 体 制 I | 2 | | 労 働 法 規 I | 2 | |
| | 地 域 福 祉 と 包 括 的 支 援 体 制 II | 2 | | 労 働 法 規 II | 2 | |
| | 貧 困 に 対 す る 支 援 | 2 | | 労 働 衛 生 学 | 2 | |
| | 権 利 擁 護 を 支 え る 法 制 度 | 2 | | 休 養 科 学 | 2 | |
| | 保 健 医 療 と 福 祉 | 2 | | 労 働 生 理 学 | 2 | |
| | 社 会 福 祉 調 査 の 基 礎 | 2 | | 救 命 救 急 医 学 | 2 | |
| | 刑 事 司 法 と 福 祉 | 2 | | 基 礎 ゼ ミ ナ ー ル I | 1 | |
| | 福 祉 サ ー ビ ス の 組 織 と 経 営 | 2 | | 基 礎 ゼ ミ ナ ー ル II | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 | 1 | | 専 門 ゼ ミ ナ ー ル I | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 (専 門) I | 1 | | 専 門 ゼ ミ ナ ー ル II | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 (専 門) II | 1 | | 卒 業 研 究 I | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 (専 門) III | 1 | | 卒 業 研 究 II | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 (専 門) IV | 1 | | 教 育 基 礎 論 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 (基 礎) | 1 | | 教 師 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 I | 1 | | 教 育 と 社 会 ・ 制 度 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 II | 1 | | 教 育 心 理 学 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 III | 1 | | 特 別 支 援 教 育 論 | 1 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 I | 2 | | 教 育 課 程 論 | 2 | |
| | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 II | 4 | | 特 別 活 動 ・ 総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 理 論 と 方 法 | 2 | |
| ソ ー シ ャ ル ワ ー ク ア ド バ ン ス 実 習 指 導 I | 1 | | 教 育 の 方 法 と 技 術 (情 報 通 信 技 術 の 活 用 含 む) | 2 | | |
| ソ ー シ ャ ル ワ ー ク ア ド バ ン ス 実 習 指 導 II | 1 | | 生 徒 指 導 及 び 進 路 指 導 論 | 2 | | |
| ソ ー シ ャ ル ワ ー ク ア ド バ ン ス 実 習 指 導 III | 1 | | 教 育 相 談 基 礎 理 論 | 2 | | |
| ソ ー シ ャ ル ワ ー ク ア ド バ ン ス 実 習 | 2 | | 教 育 実 習 指 導 論 | 2 | | |
| ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 総 論 I | 2 | | 教 育 実 習 | 3 | | |
| ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 総 論 II | 2 | | 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | 2 | | |
| ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 | 2 | | 福 祉 科 教 育 法 I | 2 | | |
| ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 | 1 | | 福 祉 科 教 育 法 II | 2 | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|----------------------------|---|-----|---------------------------------|-------------------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 医療福祉学科 初等・特別支 援教育コース | 教 育 基 礎 論 | 2 | | 自 閉 ス ペ ク ト ラ ム 症 概 論 | 2 | |
| | 教 師 論 | 2 | | 自 閉 ス ペ ク ト ラ ム 症 の 児 童 と 家 族 の 支 援 | 2 | |
| | 教 育 と 社 会 ・ 制 度 | 2 | | TEACCH プ ロ グ ラ ム 概 論 | 2 | |
| | 教 育 心 理 学 | 2 | | 構 造 化 演 習 | 1 | |
| | 特 別 支 援 教 育 論 | 1 | | 特 別 支 援 教 育 基 礎 理 論 | 2 | |
| | 教 育 課 程 論 | 2 | | 視 覚 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理 | 2 | |
| | 道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法 | 2 | | 視 覚 障 害 教 育 I | 2 | |
| | 特 別 活 動 ・ 総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 理 論 と 方 法 | 2 | | 視 覚 障 害 教 育 II | 2 | |
| | 教 育 の 方 法 と 技 術 (情 報 通 信 技 術 の 活 用 含 む) | 2 | | 視 覚 障 害 教 育 総 合 演 習 | 2 | |
| | 生 徒 指 導 及 び 進 路 指 導 論 | 2 | | 聴 覚 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理 | 2 | |
| | 教 育 相 談 基 礎 理 論 | 2 | | 聴 覚 障 害 教 育 I | 2 | |
| | 介 護 等 体 験 | | 1 | 聴 覚 障 害 教 育 II | 2 | |
| | 小 学 校 教 育 実 習 (事 前 事 後 指 導 を 含 む。) | 4 | | 聴 覚 障 害 教 育 総 合 演 習 | 2 | |
| | 学 校 体 験 活 動 | 1 | | 知 的 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理 | 2 | |
| | 教 職 実 践 演 習 (小) | 2 | | 知 的 障 害 教 育 | 2 | |
| | 国 語 (書 写 を 含 む。) | 2 | | 肢 体 不 自 由 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理 | 2 | |
| | 社 会 | 2 | | 肢 体 不 自 由 教 育 | 2 | |
| | 算 数 I | 2 | | 病 弱 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理 | 2 | |
| | 算 数 II | | 1 | 病 弱 教 育 | 2 | |
| | 理 科 I | 2 | | 発 達 障 害 児 教 育 総 論 | 1 | |
| | 理 科 II | | 1 | 障 害 児 教 育 総 論 | 2 | |
| | 生 活 | 1 | | 重 複 障 害 児 教 育 総 論 | 2 | |
| | 音 楽 I | 1 | | 特 別 支 援 学 校 教 育 実 習 | 3 | |
| | 音 楽 II | | 1 | 自 立 活 動 演 習 | 1 | |
| | 図 画 工 作 I | 1 | | 入 門 点 字 | 1 | |
| | 図 画 工 作 II | | 1 | 入 門 手 話 | 1 | |
| | 家 庭 | 1 | | 障 害 児 者 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン | 1 | |
| | 体 育 I | 1 | | 児 童 を 取 り 巻 く 社 会 課 題 | 1 | |
| | 体 育 II | | 1 | 児 童 と 家 庭 を 支 え る 制 度 | 2 | |
| | 外 国 語 (英 語) I | 2 | | 児 童 の 心 身 の 発 達 | 2 | |
| | 外 国 語 (英 語) II | | 1 | レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導 法 | 1 | |
| | 国 語 科 指 導 法 (書 写 を 含 む。) | 2 | | 社 会 福 祉 の 原 理 と 政 策 | 2 | |
| | 社 会 科 指 導 法 | 2 | | 障 害 児 者 福 祉 | 2 | |
| | 算 数 科 指 導 法 | 2 | | 児 童 ・ 家 庭 福 祉 | 2 | |
| 理 科 指 導 法 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 基 盤 と 専 門 職 | 2 | | |
| 生 活 科 指 導 法 | 2 | | ス ク ー ル (学 校) ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 | 2 | | |
| 音 楽 科 指 導 法 | 2 | | 基 礎 演 習 I | 1 | | |
| 図 画 工 作 科 指 導 法 | 2 | | 基 礎 演 習 II | 1 | | |
| 家 庭 科 指 導 法 | 2 | | 基 礎 演 習 III | 1 | | |
| 体 育 科 指 導 法 | 2 | | 基 礎 演 習 IV | 1 | | |
| 外 国 語 (英 語) 指 導 法 | 2 | | 課 題 探 究 I | 2 | | |
| 教 育 ICT 活 用 演 習 | | 2 | 課 題 探 究 II | 1 | | |
| 授 業 ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン | | 2 | 卒 業 研 究 I | 2 | | |
| イ ン ク ル ー シ ョ ン 教 育 と 支 援 | 1 | | 卒 業 研 究 II | 2 | | |
| 障 害 特 性 ア セ ス メ ン ト | 1 | | | | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|---------------------|------------------------------|-----|---------------------|--|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 臨床心理学科 | 医 学 概 論 | 2 | | 心 理 的 ア セ ス メ ン ト | 2 | |
| | 公 認 心 理 師 の 職 責 | 2 | | 心 理 学 的 支 援 法 | 2 | |
| | 心 理 学 概 論 | 2 | | 健 康 ・ 医 療 心 理 学 A | 2 | |
| | 臨 床 心 理 学 概 論 | 2 | | 健 康 ・ 医 療 心 理 学 B | 2 | |
| | 心 理 学 研 究 法 | 2 | | 福 祉 心 理 学 | 2 | |
| | 心 理 学 統 計 法 | 2 | | 教 育 ・ 学 校 心 理 学 | 2 | |
| | 心 理 学 実 験 I | 2 | | 司 法 ・ 犯 罪 心 理 学 | 2 | |
| | 心 理 学 実 験 II | 2 | | 産 業 ・ 組 織 心 理 学 | 2 | |
| | 人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病 | 2 | | 関 係 行 政 論 | 2 | |
| | 精 神 疾 患 と そ の 治 療 I | 2 | | 心 理 演 習 A | 2 | |
| | 精 神 疾 患 と そ の 治 療 II | 2 | | 心 理 演 習 B | 2 | |
| | 公 衆 衛 生 学 | 2 | | 心 理 実 習 I | 1 | |
| | 老 人 福 祉 論 | 2 | | 心 理 実 習 II | 1 | |
| | 社 会 病 理 学 | 2 | | 心 理 学 入 門 | 2 | |
| | 社 会 学 と 社 会 シ ス テ ム | 2 | | 心 理 学 史 | 2 | |
| | 社 会 福 祉 の 原 理 と 政 策 I | 2 | | 心 理 学 実 験 入 門 | 2 | |
| | 社 会 福 祉 の 原 理 と 政 策 II | 2 | | 心 理 調 査 概 論 | 2 | |
| | 地 域 福 祉 と 包 括 的 支 援 体 制 I | 2 | | 心 理 調 査 法 演 習 | 2 | |
| | 地 域 福 祉 と 包 括 的 支 援 体 制 II | 2 | | 加 齢 心 理 学 | 2 | |
| | 社 会 保 障 I | 2 | | 臨 床 心 理 学 各 論 | 2 | |
| | 社 会 保 障 II | 2 | | 比 較 心 理 学 | 2 | |
| | 権 利 擁 護 を 支 える 法 制 度 | 2 | | 哲 学 と 心 理 学 | 2 | |
| | 障 害 者 福 祉 | 2 | | 外 書 講 読 | 2 | |
| | 現 代 の 精 神 保 健 の 課 題 と 支 援 I | 2 | | 学 外 実 習 事 前 指 導 | 2 | |
| | 現 代 の 精 神 保 健 の 課 題 と 支 援 II | 2 | | 卒 業 研 究 I | 3 | |
| | 精 神 保 健 福 祉 制 度 論 | 2 | | 卒 業 研 究 II | 3 | |
| | 精 神 障 害 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 論 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 基 盤 と 専 門 職 | 2 | |
| | 刑 事 司 法 と 福 祉 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 I | 2 | |
| | 社 会 福 祉 調 査 の 基 礎 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 II | 2 | |
| | 臨 床 心 理 学 演 習 I | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 (専 門) I | 2 | |
| | 臨 床 心 理 学 演 習 II | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 (専 門) II | 2 | |
| | 臨 床 心 理 学 演 習 III | 2 | | 精 神 保 健 福 祉 の 原 理 I | 2 | |
| | 臨 床 心 理 学 演 習 IV | 2 | | 精 神 保 健 福 祉 の 原 理 II | 2 | |
| | 学 習 ・ 言 語 心 理 学 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 | 1 | |
| | 知 覚 ・ 認 知 心 理 学 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 (専 門) I | 1 | |
| | 神 経 ・ 生 理 心 理 学 A | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 (専 門) II | 1 | |
| | 神 経 ・ 生 理 心 理 学 B | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 (専 門) III | 1 | |
| | 感 情 ・ 人 格 心 理 学 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 I | 1 | |
| | 社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 II | 1 | |
| | 発 達 心 理 学 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 III | 1 | |
| 障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学 | 2 | | ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 | 5 | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|-----------------|------------------------------------|-----|--------------------|------------------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 医療保育学科 | 医 療 保 育 総 論 | 2 | | 領 域（人 間 関 係）の 指 導 法 | 1 | |
| | 保 育 原 理 | 2 | | 領 域（環 境）の 指 導 法 | 1 | |
| | 教 育 基 礎 理 論 | 2 | | 領 域（言 葉）の 指 導 法 | 1 | |
| | 子 ども 家 庭 福 祉 | 2 | | 領 域（表 現）の 指 導 法 I | 2 | |
| | 社 会 福 祉 | 2 | | 領 域（表 現）の 指 導 法 II | 1 | |
| | 子 ども 家 庭 支 援 論 | 2 | | 総 合 表 現 指 導 法 I | 2 | |
| | 社 会 的 養 護 I | 2 | | 総 合 表 現 指 導 法 II | 2 | |
| | 教 職 概 論 | 2 | | 子 どもと遊 びの指 導 法（障 害 児・病 児の遊 びを 含 む） | 1 | |
| | 子 ども の 教 育 制 度 | 2 | | 子 ども の 健 康 と 安 全 | | 1 |
| | 障 害 児 の ケ ア と 発 達 支 援 | | 1 | 幼 児 理 解 の 理 論 と 方 法 | 2 | |
| | 保 幼 小 接 続 ・ 連 携 論 | 2 | | 教 育 相 談 | 2 | |
| | 子 ども 医 療 福 祉 論 | | 2 | 教 育 方 法 の 理 論 と 実 践 | 2 | |
| | 子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学 | 2 | | 子 育 て 支 援 | 1 | |
| | 子 ども の 理 解 と 援 助 | | 1 | 社 会 的 養 護 II | 1 | |
| | 子 ども の 保 健 | 2 | | カ リ キ ュ ラ ム 編 成 論 | 2 | |
| | 子 ども の 食 と 栄 養 I | 1 | | 特 別 な 教 育 的 ニーズ の 理 解 と そ の 支 援 | 1 | |
| | 子 ども の 食 と 栄 養 II | | 1 | 乳 児 保 育 I | 2 | |
| | 発 達 心 理 学 | 2 | | 乳 児 保 育 II | | 1 |
| | 心 身 の 発 達 と 学 習 過 程 | 2 | | 障 害 児 保 育 I | 1 | |
| | 学 習 心 理 学 | 2 | | 障 害 児 保 育 II | 1 | |
| | 医 学 概 論 | 2 | | 子 ども 救 急 処 置 法 | 1 | |
| | 小 児 科 学（か ら だ の 仕 組 み と 働 き を 含 む） | 2 | | 保 育 実 習 指 導 I A | | 1 |
| | 保 育 の 音 楽 I | 1 | | 保 育 実 習 指 導 I B | | 1 |
| | 保 育 の 音 楽 II | 1 | | 保 育 実 習 I（保 育 所） | | 2 |
| | 保 育 の 音 楽 III | | 1 | 保 育 実 習 I（施 設） | | 2 |
| | 保 育 の 音 楽 IV | | 1 | 保 育 実 習 指 導 II（保 育 所） | | 1 |
| | 保 育 の 図 画 工 作 I | 1 | | 保 育 実 習 II（保 育 所） | | 2 |
| | 保 育 の 図 画 工 作 II | | 1 | 保 育 実 習 指 導 III（施 設） | | 1 |
| | 保 育 の 体 育 I | 1 | | 保 育 実 習 III（施 設） | | 2 |
| | 保 育 の 体 育 II | | 1 | 教 育 実 習 指 導 | | 1 |
| | 小 児 看 護 | | 2 | 教 育 実 習 | | 4 |
| | 母 性 看 護 | | 2 | 病 児 保 育 実 習 指 導 I | | 1 |
| | 病 児 保 育 I | 2 | | 病 児 保 育 実 習 指 導 II | | 1 |
| | 病 児 保 育 II | | 1 | 病 児 保 育 実 習 I | | 1 |
| | 発 達 障 害 児 の ケ ア と 発 達 支 援 I | 1 | | 病 児 保 育 実 習 II | | 1 |
| | 発 達 障 害 児 の ケ ア と 発 達 支 援 II | | 1 | 発 達 障 害 児 保 育 実 習 指 導 I | | 1 |
| | 子 ども と 健 康 | 1 | | 発 達 障 害 児 保 育 実 習 指 導 II | | 1 |
| | 子 ども と 人 間 関 係 | 1 | | 発 達 障 害 児 保 育 実 習 | | 1 |
| | 子 ども と 環 境 | 1 | | 教 職 実 践 演 習（幼 稚 園） | | 2 |
| | 子 ども と 言 葉 | 1 | | こ ども 園 演 習 I | | 1 |
| | 子 ども と 表 現 I（身 体 表 現） | 1 | | こ ども 園 演 習 II | | 1 |
| | 子 ども と 表 現 I（造 形 表 現） | 1 | | こ ども 園 演 習 III | | 1 |
| | 子 ども と 表 現 I（音 楽 表 現） | 1 | | こ ども 園 演 習 IV | | 1 |
| 子 ども と 表 現 II | | 2 | 基 礎 ゼ ミ ナ ー ル | | 1 | |
| 保 育 内 容 総 論 I | 1 | | 医 療 保 育 ゼ ミ ナ ー ル | | 1 | |
| 保 育 内 容 総 論 II | 2 | | 医 療 保 育 実 践 研 究 I | | 1 | |
| 領 域（健 康）の 指 導 法 | 1 | | 医 療 保 育 実 践 研 究 II | | 1 | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|-----------------|-----------------------|-----|---------------|-------------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 保健看護学科 | 感 染 と 免 疫 | 1 | | 地 域 精 神 看 護 論 | 1 | |
| | 生 化 学 | 1 | | 認 知 症 看 護 論 | 1 | |
| | 栄 養 学 | 1 | | 精 神 看 護 学 実 習 | 2 | |
| | 構 造 と 機 能 I | 2 | | 老 年 看 護 学 実 習 | 3 | |
| | 構 造 と 機 能 II | 2 | | 小 児 看 護 学 概 論 | 2 | |
| | 薬 理 学 | 2 | | 母 性 看 護 学 概 論 | 2 | |
| | 病 理 病 態 学 | 2 | | 小 児 看 護 援 助 論 | 2 | |
| | 看 護 内 科 病 態 学 I | 1 | | 母 性 看 護 援 助 論 | 2 | |
| | 看 護 内 科 病 態 学 II | 1 | | 小 児 健 康 支 援 論 | 1 | |
| | 看 護 外 科 病 態 学 I | 1 | | 女 性 健 康 支 援 論 | 1 | |
| | 看 護 外 科 病 態 学 II | 1 | | 小 児 看 護 学 実 習 | 2 | |
| | 救 命 救 急 医 学 | 1 | | 母 性 看 護 学 実 習 | 2 | |
| | 保 健 統 計 学 | 2 | | 公 衆 衛 生 看 護 学 概 論 | 2 | |
| | 保 健 医 療 福 祉 行 政 論 I | 2 | | 家 族 看 護 論 | 1 | |
| | 公 衆 衛 生 学 | 2 | | 学 校 保 健 | 2 | |
| | 疫 学 | 2 | | 在 宅 看 護 概 論 | 2 | |
| | 保 健 医 療 福 祉 行 政 論 II | 2 | | 保 健 指 導 論 | 2 | |
| | 看 護 学 概 論 | 2 | | 在 宅 看 護 援 助 論 | 2 | |
| | 対 人 関 係 援 助 論 | 1 | | 産 業 看 護 学 | 2 | |
| | 看 護 理 論 | 1 | | 公 衆 衛 生 看 護 活 動 I | 1 | |
| | 生 活 援 助 技 術 論 | 3 | | 公 衆 衛 生 看 護 活 動 II | 2 | |
| | 診 療 補 助 技 術 論 | 2 | | コ ミ ュ ニ テ ィ ア セ ス メ ン ト | 1 | |
| | フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト | 1 | | 公 衆 衛 生 看 護 管 理 論 | 2 | |
| | 看 護 過 程 論 | 1 | | 健 康 危 機 管 理 論 | 1 | |
| | 基 礎 統 合 論 | 1 | | 在 宅 看 護 実 習 | 2 | |
| | 健 康 生 活 支 援 実 習 | 1 | | 公 衆 衛 生 看 護 学 実 習 I | 2 | |
| | 基 礎 看 護 学 実 習 I | 1 | | 公 衆 衛 生 看 護 学 実 習 II | 3 | |
| | 基 礎 看 護 学 実 習 II | 2 | | ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル | 1 | |
| | 成 人 看 護 学 概 論 | 2 | | 医 療 安 全 論 | 1 | |
| | 急 性 期 看 護 援 助 論 | 2 | | 国 際 看 護 学 | 1 | |
| | 慢 性 期 看 護 援 助 論 | 2 | | 看 護 研 究 方 法 論 | 1 | |
| | 臨 床 看 護 実 践 論 | 1 | | チ ー ム 医 療 論 | 1 | |
| | が ん 看 護 援 助 論 | 1 | | 看 護 倫 理 | 1 | |
| | ク リ テ ィ カ ル ケ ア 論 | 1 | | 看 護 管 理 学 (キ ャ リ ア 開 発 を 含 む) | 1 | |
| 急 性 期 看 護 学 実 習 | 3 | | 看 護 教 育 学 | 1 | | |
| 慢 性 期 看 護 学 実 習 | 3 | | 災 害 看 護 学 | 1 | | |
| 精 神 看 護 学 概 論 | 2 | | 統 合 看 護 学 実 習 | 2 | | |
| 老 年 看 護 学 概 論 | 2 | | 卒 業 研 究 I | 1 | | |
| 精 神 看 護 援 助 論 | 2 | | 卒 業 研 究 II | 1 | | |
| 老 年 看 護 援 助 論 | 2 | | | | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|---------------|--------------------|-----|----|----------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 理学療法学科 | 医 学 概 論 | 2 | | 総 合 理 学 療 法 学 | 2 | |
| | 医 学 英 語 | | 2 | 理 学 療 法 学 概 論 | 2 | |
| | 解 剖 学 I | 1 | | 機 能 障 害 運 動 学 | 1 | |
| | 解 剖 学 II | 1 | | 理 学 療 法 評 価 学 I | 1 | |
| | 解 剖 学 III | 1 | | 理 学 療 法 評 価 学 II | 1 | |
| | 理 学 療 法 基 礎 演 習 I | 1 | | 理 学 療 法 評 価 学 実 習 I | 1 | |
| | 理 学 療 法 基 礎 演 習 II | 1 | | 理 学 療 法 評 価 学 実 習 II | 1 | |
| | 解 剖 学 実 習 | 1 | | 運 動 療 法 学 | 1 | |
| | 生 理 学 I | 1 | | 物 理 療 法 学 | 1 | |
| | 生 理 学 II | 1 | | 理 学 療 法 学 A | 1 | |
| | 生 理 学 実 習 | 1 | | 理 学 療 法 学 B | 1 | |
| | リハビリテーション医学 I | 2 | | 理 学 療 法 学 C | 1 | |
| | リハビリテーション医学 II | 2 | | 理 学 療 法 学 D | 1 | |
| | リハビリテーション総論 | 2 | | 理 学 療 法 学 E | 1 | |
| | 作 業 療 法 学 概 論 | | 2 | 理 学 療 法 総 合 演 習 | 2 | |
| | 人 間 発 達 学 | 2 | | 理 学 療 法 技 術 実 習 I | 2 | |
| | 小 児 科 学 | 2 | | 理 学 療 法 技 術 実 習 II | 2 | |
| | 病 理 学 | 1 | | 理 学 療 法 技 術 実 習 III | 2 | |
| | 運 動 学 | 2 | | 日 常 生 活 活 動 学 | 1 | |
| | 運 動 学 実 習 | 1 | | 日 常 生 活 活 動 学 実 習 | 1 | |
| | 内 科 学 | 2 | | 地 域 理 学 療 法 学 | 2 | |
| | 神 経 内 科 学 | 2 | | 地 域 生 活 環 境 論 | 1 | |
| | 整 形 外 科 学 I | 2 | | 補 装 具 治 療 学 | 1 | |
| | 整 形 外 科 学 II | 2 | | 補 装 具 治 療 学 実 習 | 1 | |
| | 精 神 医 学 I | 2 | | 臨 床 基 礎 実 習 I | 2 | |
| | 精 神 医 学 II | | 2 | 臨 床 基 礎 実 習 II | 2 | |
| | 臨 床 心 理 学 | | 2 | 理 学 療 法 臨 床 実 習 I | 2 | |
| | 老 人 心 理 学 | | 2 | 理 学 療 法 臨 床 実 習 II | 8 | |
| | 心 理 療 法 | | 2 | 理 学 療 法 臨 床 実 習 III | 8 | |
| | 障 害 者 福 祉 論 | | 2 | 理 学 療 法 研 究 I | 1 | |
| | 老 人 福 祉 論 | | 2 | 理 学 療 法 研 究 II | 1 | |
| | スポーツリハビリテーション | | 2 | 卒 業 研 究 I | 1 | |
| | インタープロフェッション演習 | | 1 | 卒 業 研 究 II | 1 | |
| | 高次脳機能障害作業治療学 | | 2 | 卒 業 研 究 III | 2 | |
| 予 防 理 学 療 法 学 | | 2 | | | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|--------|--------------------|-----|----|----------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 作業療法学科 | 医 学 概 論 | 2 | | 作 業 療 法 評 価 学 A I | 1 | |
| | 医 学 英 語 | | 2 | 作 業 療 法 評 価 学 A II | 1 | |
| | 解 剖 学 I | 1 | | 作 業 療 法 評 価 学 B | 1 | |
| | 解 剖 学 II | 1 | | 作 業 療 法 評 価 学 実 習 I | 1 | |
| | 解 剖 学 III | 1 | | 作 業 療 法 評 価 学 実 習 II | 1 | |
| | 作 業 療 法 基 礎 演 習 I | 1 | | 作 業 治 療 学 総 論 | 1 | |
| | 作 業 療 法 基 礎 演 習 II | 1 | | 作 業 療 法 運 動 治 療 学 演 習 | 1 | |
| | 解 剖 学 実 習 | 1 | | 機 能 障 害 運 動 学 | | 2 |
| | 生 理 学 I | 1 | | 身 体 障 害 作 業 治 療 学 I | 1 | |
| | 生 理 学 II | 1 | | 身 体 障 害 作 業 治 療 学 II | 1 | |
| | 生 理 学 実 習 | 1 | | 高 次 脳 機 能 障 害 作 業 治 療 学 | 1 | |
| | 病 理 学 | 1 | | 精 神 障 害 作 業 治 療 学 I | 1 | |
| | 運 動 学 | 2 | | 精 神 障 害 作 業 治 療 学 II | 1 | |
| | 運 動 学 実 習 | 1 | | 発 達 障 害 作 業 治 療 学 | 1 | |
| | 人 間 発 達 学 | 2 | | 老 年 期 作 業 治 療 学 | 1 | |
| | 小 児 科 学 | 2 | | 日 常 生 活 活 動 学 | 1 | |
| | 内 科 学 | 2 | | 地 域 生 活 環 境 論 | 1 | |
| | 神 経 内 科 学 | 2 | | 地 域 作 業 療 法 学 | 1 | |
| | 臨 床 心 理 学 | | 2 | 日 常 生 活 活 動 学 実 習 | 1 | |
| | 老 人 心 理 学 | | 2 | 補 装 具 治 療 学 | 1 | |
| | 心 理 療 法 | | 2 | 補 装 具 治 療 学 実 習 | 1 | |
| | リハビリテーション総論 | 2 | | ス ポー ツ リ ハ ビ リ テー シ ョ ン | | 2 |
| | リハビリテーション医学 I | 2 | | イ ン ター プ ロ フ ェ ッ シ ョ ン 演 習 | | 2 |
| | リハビリテーション医学 II | 2 | | 作 業 療 法 の 実 際 I | | 2 |
| | 精 神 医 学 I | 2 | | 作 業 療 法 の 実 際 II | | 2 |
| | 精 神 医 学 II | 2 | | 臨 床 基 礎 実 習 A I | 1 | |
| | 整 形 外 科 学 I | 2 | | 臨 床 基 礎 実 習 A II | 1 | |
| | 整 形 外 科 学 II | 2 | | 臨 床 基 礎 実 習 B | 1 | |
| | 障 害 者 福 祉 論 | | 2 | 作 業 療 法 臨 床 実 習 I | 3 | |
| | 老 人 福 祉 論 | | 2 | 作 業 療 法 臨 床 実 習 II | 8 | |
| | 総 合 演 習 I | | 2 | 作 業 療 法 臨 床 実 習 III | 8 | |
| | 総 合 演 習 II | | 2 | 総 合 作 業 療 法 学 | 2 | |
| | 作 業 療 法 学 概 論 | 1 | | 作 業 療 法 研 究 I | 1 | |
| | 理 学 療 法 学 概 論 | | 2 | 作 業 療 法 研 究 II | 1 | |
| | 作 業 療 法 管 理 学 | 1 | | 卒 業 研 究 I | 1 | |
| | 基 礎 作 業 学 | 1 | | 卒 業 研 究 II | 1 | |
| | 基 礎 作 業 学 実 習 I | 1 | | 卒 業 研 究 III | 2 | |
| | 基 礎 作 業 学 実 習 II | 1 | | | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|-----------------|---------------------------------|-----|-------------------|--------------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 言語聴覚 療法学科 | 医 学 概 論 | 2 | | 失 語 症 II | 1 | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | 高 次 脳 機 能 障 害 学 I | 1 | |
| | 言語聴覚・視能療法学概論(関係法規を含む) | 1 | | 高 次 脳 機 能 障 害 学 II | 1 | |
| | 解 剖 学 | 1 | | 言 語 発 達 障 害 I | 2 | |
| | 生 理 学 | 1 | | 言 語 発 達 障 害 II | 2 | |
| | 病 理 学 | 1 | | 吃 音 | 1 | |
| | 脳 機 能 学 | | 2 | 音 声 障 害 | 2 | |
| | 画 像 診 断 学 | 2 | | 摂 食 嚥 下 障 害 I | 1 | |
| | 内 科 学 | 2 | | 摂 食 嚥 下 障 害 II | 1 | |
| | 脳 ・ 神 経 学 | 2 | | 構 音 障 害 I | 1 | |
| | 精 神 医 学 | 2 | | 構 音 障 害 II | 1 | |
| | 小 児 病 学 | 1 | | 聴 覚 障 害 I | 2 | |
| | 音 声 言 語 医 学 | 2 | | 聴 覚 障 害 II | 1 | |
| | リハビリテーション医学・総論 | 2 | | 聴 覚 障 害 III | 1 | |
| | 保 育 | | 2 | 聴 覚 障 害 IV | 1 | |
| | 精 神 保 健 学 | | 2 | 言 語 聴 覚 臨 床 実 習 A | 1 | |
| | 発 達 心 理 学 | 2 | | 言 語 聴 覚 臨 床 実 習 B | 3 | |
| | 言 語 発 達 心 理 学 | 1 | | 言 語 聴 覚 臨 床 実 習 C | 11 | |
| | 心 理 測 定 法 | 1 | | 言 語 聴 覚 療 法 管 理 学 | 2 | |
| | 学 習 ・ 認 知 心 理 学 | 2 | | 地 域 言 語 聴 覚 療 法 学 | 2 | |
| | 臨 床 心 理 学 | 2 | | 失 語 ・ 高 次 脳 機 能 障 害 学 演 習 I | 1 | |
| | 言 語 心 理 学 | | 2 | 失 語 ・ 高 次 脳 機 能 障 害 学 演 習 II | 1 | |
| | 聴 覚 心 理 学 | 1 | | 言 語 発 達 障 害 学 演 習 I | 1 | |
| | 音 響 心 理 学 | 1 | | 言 語 発 達 障 害 学 演 習 II | 1 | |
| | 社 会 福 祉 (含 実 習) | 2 | | 発 声 発 語 ・ 摂 食 嚥 下 障 害 学 演 習 I | 1 | |
| | 耳 鼻 咽 喉 科 学 | 1 | | 発 声 発 語 ・ 摂 食 嚥 下 障 害 学 演 習 II | 1 | |
| | 口 腔 科 学 ・ 臨 床 歯 科 学 ・ 形 成 外 科 学 | 2 | | 聴 覚 障 害 学 演 習 I | 1 | |
| | 言 語 学 I | 1 | | 聴 覚 障 害 学 演 習 II | 1 | |
| | 言 語 学 II | 1 | | 言 語 聴 覚 障 害 学 演 習 | 2 | |
| | 音 声 学 ・ 音 響 学 I | 2 | | 基 礎 ゼ ミ ナ ー ル I | 1 | |
| | 音 声 学 ・ 音 響 学 II | 2 | | 基 礎 ゼ ミ ナ ー ル II | 1 | |
| | 保 育 実 習 | | 1 | 専 門 ゼ ミ ナ ー ル I | 1 | |
| 言 語 聴 覚 障 害 概 論 | 1 | | 専 門 ゼ ミ ナ ー ル II | 1 | | |
| 言 語 聴 覚 診 断 学 | 2 | | 専 門 ゼ ミ ナ ー ル III | 1 | | |
| 失 語 症 I | 1 | | 専 門 ゼ ミ ナ ー ル IV | 1 | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|--------------|--|-----|------------|---------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 視能療法学科 | 医 学 概 論 | 2 | | 基 礎 視 能 学 III | 1 | |
| | 解 剖 学 | 1 | | 基 礎 視 能 学 実 習 | 1 | |
| | 解 剖 学 実 習 | 1 | | 視 能 学 研 究 法 | 1 | |
| | 生 理 学 | 1 | | 生 理 光 学 | 2 | |
| | 生 理 学 実 習 | 1 | | 生 理 光 学 実 習 | 2 | |
| | 小 児 病 学 | 1 | | 基 礎 視 能 検 査 学 | 1 | |
| | 発 達 心 理 学 | 2 | | 視 能 検 査 学 I | 2 | |
| | 心 理 測 定 法 | 1 | | 視 能 検 査 学 II | 2 | |
| | 学 習 ・ 認 知 心 理 学 | 2 | | 視 能 検 査 学 III | 1 | |
| | 臨 床 心 理 学 | 2 | | 視 能 評 価 学 実 習 I | 2 | |
| | 言 語 心 理 学 | 2 | | 視 能 評 価 学 実 習 II | 2 | |
| | 教 育 心 理 学 | 2 | | 眼 疾 病 学 | 2 | |
| | 病 理 学 | 1 | | 神 経 眼 科 学 | 1 | |
| | 内 科 学 | 2 | | 小 児 眼 科 学 | 1 | |
| | 脳 ・ 神 経 学 | 2 | | ロ ー ビ ジ ョ ン 学 | 1 | |
| | 精 神 医 学 | 2 | | 臨 床 視 能 学 I | 2 | |
| | 精 神 保 健 学 | 2 | | 臨 床 視 能 学 II | 2 | |
| | 脳 機 能 学 | 2 | | 臨 床 視 能 学 III | 1 | |
| | 眼 科 薬 理 学 | 1 | | 視 能 療 法 学 I | 1 | |
| | 画 像 診 断 学 | 2 | | 視 能 療 法 学 II | 2 | |
| | 視 覚 生 理 学 | 1 | | 視 能 療 法 学 III | 2 | |
| | 視 覚 生 理 学 実 習 | 1 | | 臨 床 視 能 学 実 習 I | 2 | |
| | 視 器 の 機 能 解 剖 学 | 2 | | 臨 床 視 能 学 実 習 II | 2 | |
| | 言 語 聴 覚 ・ 視 能 療 法 学 概 論 (関 係 法 規 を 含 む) | 1 | | 視 能 臨 地 演 習 | 2 | |
| | リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学 | 2 | | 視 能 療 法 臨 地 実 習 I | 2 | |
| | 保 育 | 2 | | 視 能 療 法 臨 地 実 習 II | 2 | |
| | 保 育 実 習 | 1 | | 視 能 療 法 臨 地 実 習 III | 12 | |
| | 社 会 福 祉 (含 実 習) | 2 | | 卒 業 研 究 I | 1 | |
| | 視 能 学 概 論 | 1 | | 卒 業 研 究 II | 1 | |
| | 基 礎 視 能 学 I | 2 | | 卒 業 研 究 III | 1 | |
| 基 礎 視 能 学 II | 2 | | 卒 業 研 究 IV | 1 | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|-----------|------------------------|-----|---------------|-------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 臨床検査学科 | 人 体 の 構 造 と 機 能 I | 1 | | 病 理 検 査 学 実 習 | 2 | |
| | 人 体 の 構 造 と 機 能 II | 1 | | 細 胞 検 査 学 | 1 | |
| | 解 剖 組 織 学 | 1 | | 一 般 検 査 学 | 1 | |
| | 解 剖 組 織 学 実 習 | 2 | | 一 般 検 査 学 実 習 | 2 | |
| | 生 化 学 | 1 | | 臨 床 化 学 I | 1 | |
| | 生 化 学 実 習 | 1 | | 臨 床 化 学 実 習 | 2 | |
| | 分 子 生 物 学 | 1 | | 臨 床 化 学 II | 1 | |
| | 医 学 概 論 | 1 | | 免 疫 検 査 学 | 2 | |
| | 医 学 英 語 | 1 | | 遺 伝 子 検 査 学 演 習 | 2 | |
| | 病 理 学 総 論 | 1 | | 輸 血 ・ 移 植 検 査 学 | 2 | |
| | 病 理 学 各 論 | 1 | | 免 疫 ・ 輸 血 検 査 学 実 習 | 2 | |
| | 臨 床 検 査 基 礎 演 習 | 2 | | 臨 床 微 生 物 学 | 2 | |
| | 公 衆 衛 生 学 | 1 | | 臨 床 微 生 物 学 実 習 | 2 | |
| | 医 療 関 係 法 規 | 1 | | 微 生 物 学 演 習 | 2 | |
| | チ ー ム 医 療 概 論 | 1 | | 循 環 ・ 呼 吸 機 能 検 査 学 | 2 | |
| | 臨 床 検 査 キ ャ リ ア デ ザ イン | 1 | | 循 環 ・ 呼 吸 機 能 検 査 学 実 習 | 2 | |
| | 情 報 科 学 概 論 | 2 | | 神 經 生 理 検 査 学 | 2 | |
| | 情 報 科 学 演 習 | 2 | | 画 像 検 査 学 | 2 | |
| | 医 療 統 計 学 演 習 | 1 | | 神 經 生 理 ・ 画 像 検 査 学 実 習 | 2 | |
| | 医 療 工 学 | 1 | | 検 査 機 器 総 論 | 2 | |
| | 臨 床 病 態 学 総 論 | 1 | | 検 査 総 合 管 理 学 I | 2 | |
| | 臨 床 病 態 学 各 論 | 1 | | 検 査 総 合 管 理 学 II | 1 | |
| | 臨 床 病 態 学 演 習 I | 2 | | 医 学 研 究 入 門 | 1 | |
| | 臨 床 病 態 学 演 習 II | 2 | | 医 療 安 全 管 理 学 | 2 | |
| | 病 態 薬 理 学 | 1 | | 臨 地 実 習 導 入 演 習 | 2 | |
| | 臨 床 栄 養 学 | 1 | | 臨 地 実 習 | 10 | |
| | 血 液 検 査 学 | 2 | | 卒 業 研 究 | 4 | |
| | 血 液 検 査 学 実 習 | 2 | | 卒 業 課 題 研 究 | 2 | |
| 病 理 検 査 学 | 2 | | 医 学 検 査 学 詳 説 | 2 | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|---------------|----------------------|-----|----|----------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 診療放射線 技術学科 | 医 学 概 論 | 2 | | 診 療 画 像 技 術 学 実 験 I | 1 | |
| | 臨 床 医 学 概 論 | 2 | | 診 療 画 像 技 術 学 実 験 II | 1 | |
| | 解 剖 生 理 学 I | 1 | | 診 療 画 像 技 術 学 実 験 III | 1 | |
| | 解 剖 生 理 学 II | 1 | | 診 療 画 像 技 術 学 詳 論 I | 1 | |
| | 生 化 学 | 1 | | 診 療 画 像 技 術 学 詳 論 II | 1 | |
| | 病 理 学 | 1 | | 診 療 画 像 技 術 学 詳 論 III | 1 | |
| | 公 衆 衛 生 学 概 論 | 2 | | 核 医 学 概 論 I | 2 | |
| | 造 影 検 査 学 概 論 | 2 | | 核 医 学 概 論 II | 2 | |
| | 基 礎 医 学 大 要 演 習 | 1 | | 核 医 学 検 査 技 術 学 | 1 | |
| | 基 礎 科 学 演 習 I | 1 | | 核 医 学 検 査 技 術 学 詳 論 | 1 | |
| | 基 礎 科 学 演 習 II | 1 | | 放 射 線 腫 瘍 学 概 論 | 2 | |
| | 基 礎 科 学 実 験 | 1 | | 放 射 線 治 療 学 概 論 | 2 | |
| | 医 用 物 理 学 概 論 | 2 | | 放 射 線 治 療 技 術 学 | 1 | |
| | 医 用 電 気 電 子 工 学 I | 1 | | 放 射 線 治 療 管 理 計 測 学 | 1 | |
| | 医 用 電 気 電 子 工 学 II | 1 | | 放 射 線 治 療 技 術 学 詳 論 | 1 | |
| | 情 報 科 学 概 論 | 2 | | 医 療 画 像 情 報 学 I | 1 | |
| | 放 射 線 物 理 学 | 1 | | 医 療 画 像 情 報 学 II | 1 | |
| | 放 射 線 計 測 物 理 学 | 1 | | 医 療 画 像 解 析 学 I | 1 | |
| | 放 射 化 学 | 1 | | 医 療 画 像 解 析 学 II | 1 | |
| | 放 射 線 生 物 学 | 1 | | 医 療 画 像 解 析 学 実 験 | 1 | |
| | 放 射 線 計 測 学 | 1 | | 医 療 画 像 情 報 学 詳 論 | 1 | |
| | 放 射 線 取 扱 詳 論 | 1 | | 放 射 線 関 係 法 規 | 1 | |
| | 放 射 線 科 学 演 習 I | 1 | | 放 射 線 安 全 管 理 学 | 1 | |
| | 放 射 線 科 学 演 習 II | 1 | | 放 射 線 安 全 管 理 学 実 験 | 1 | |
| | 放 射 線 科 学 演 習 III | 1 | | 放 射 線 安 全 管 理 学 詳 論 | 1 | |
| | 画 像 診 断 学 概 論 | 2 | | 医 療 安 全 管 理 学 I | 1 | |
| | 臨 床 画 像 学 演 習 | 1 | | 医 療 安 全 管 理 学 II | 1 | |
| | 放 射 線 画 像 機 器 工 学 I | 1 | | 実 践 臨 床 画 像 学 I | 1 | |
| | 放 射 線 画 像 機 器 工 学 II | 1 | | 実 践 臨 床 画 像 学 II | 1 | |
| | 放 射 線 画 像 検 査 学 I | 1 | | 診 療 放 射 線 技 術 学 臨 床 実 習 I | 6 | |
| | 放 射 線 画 像 検 査 学 II | 1 | | 診 療 放 射 線 技 術 学 臨 床 実 習 II | 6 | |
| | 放 射 線 造 影 検 査 学 I | 1 | | 診 療 放 射 線 技 術 学 演 習 I | 1 | |
| | 放 射 線 造 影 検 査 学 II | 1 | | 診 療 放 射 線 技 術 学 演 習 II | 1 | |
| | X 線 C T 画 像 検 査 学 | 1 | | 診 療 放 射 線 技 術 学 演 習 III | | 1 |
| | M R 画 像 検 査 学 | 1 | | 診 療 放 射 線 技 術 学 演 習 IV | | 1 |
| | 臨 床 断 層 画 像 検 査 学 | 1 | | 卒 業 研 究 I | 1 | |
| | 超 音 波 画 像 検 査 学 | 1 | | 卒 業 研 究 II | 2 | |
| | 診 療 画 像 検 査 学 | 1 | | 卒 業 研 究 III | 2 | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|------------|------------|-----|------|-------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 臨床工学科 | 基礎ゼミナール1 | 1 | | プロジェクト演習2 | 3 | |
| | 基礎ゼミナール2 | 1 | | 臨床工学総論1 | 2 | |
| | 臨床工学ゼミナール1 | 1 | | 臨床工学総論2 | 2 | |
| | 臨床工学ゼミナール2 | 1 | | 臨床工学総論3 | 2 | |
| | 医学用語 | 1 | | 臨床工学総論4 | 2 | |
| | 解剖学概論 | 1 | | 生体計測概論 | 1 | |
| | 生理学概論 | 1 | | 生体計測詳論 | 2 | |
| | 生化学概論 | 1 | | 生体計測実習 | 2 | |
| | 基礎医学実習 | 2 | | 治療機器学概論 | 1 | |
| | 医学概論 | 1 | | 画像診断装置学 | 1 | |
| | 病理学総論 | 2 | | 検査機器学総論 | 2 | |
| | 臨床薬理学 | 1 | | 人工臓器総論 | 2 | |
| | 内科系総論 | 2 | | 生体機能代行装置学1 | 1 | |
| | 外科系概論 | 1 | | 生体機能代行装置学2 | 1 | |
| | 数学演習 | 1 | | 生体機能代行装置学3 | 1 | |
| | 物理学演習 | 1 | | 生体機能代行装置学実習 | 2 | |
| | 化学演習 | 1 | | 治療機器学詳論 | 2 | |
| | 基礎理工学実験 | 2 | | 治療機器学実習 | 2 | |
| | 電気工学概論1 | 1 | | 臨床工学特別実習 | 1 | |
| | 電気工学概論2 | 1 | | 総合演習1 | 1 | |
| | 電気工学詳論 | 2 | | 総合演習2 | 1 | |
| | 電子工学概論1 | 1 | | 総合演習3 | 1 | |
| | 電子工学概論2 | 1 | | 総合演習4 | 1 | |
| | 電気・電子工学演習 | 1 | | 医療安全工学総論 | 2 | |
| | 電気・電子工学実験 | 2 | | 病院管理学総論 | 2 | |
| | 医用機械工学総論1 | 2 | | 予防医学 | 1 | |
| | 医用機械工学総論2 | 2 | | 救命救急医学総論 | 2 | |
| | 応用数学 | 1 | | リハビリテーション学 | 1 | |
| | 情報工学1 | 1 | | 臨床看護学 | 1 | |
| | 情報工学2 | 1 | | 臨床実習1 | 2 | |
| | 情報処理実習 | 2 | | 臨床実習2 | 2 | |
| | 医用物性学 | 1 | | 臨床実習3 | 2 | |
| | 医用材料学 | 1 | | 臨床実習4 | 1 | |
| 生体システム工学総論 | 2 | | 卒業研究 | 3 | | |
| プロジェクト演習1 | 3 | | | | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|-----------|-----------------------|-----|----------------------|---|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 臨床栄養学科 | 医 学 概 論 | 1 | | 栄 養 情 報 学 | 2 | |
| | 医療用語（栄養英語を含む） | | 1 | 栄 養 教 育 論 | 2 | |
| | 基 礎 生 理 学 | 1 | | 栄 養 情 報 実 習 | 1 | |
| | 基 礎 生 化 学 | 1 | | カ ウ ン セ リ ン グ 論 | 2 | |
| | 管 理 栄 養 士 概 説 | | 1 | 臨 床 栄 養 管 理 I | 2 | |
| | 栄 養 生 態 学 | 2 | | 臨 床 栄 養 管 理 II | 2 | |
| | 環 境 保 健 学 | 2 | | 栄 養 評 価 学 | 2 | |
| | 健 康 科 学 概 論 | 2 | | 栄 養 補 給 学 | 1 | |
| | 健 康 管 理 実 習 I | 1 | | 臨 床 栄 養 学 実 習 I | 1 | |
| | 健 康 管 理 実 習 II | 1 | | 臨 床 栄 養 学 実 習 II | 1 | |
| | 解 剖 生 理 学 I | 1 | | 臨 床 栄 養 学 実 習 III | 1 | |
| | 解 剖 生 理 学 II | 1 | | 福 祉 栄 養 学 | 1 | |
| | 解 剖 生 理 学 演 習 | 1 | | 在 宅 栄 養 支 援 演 習 | 1 | |
| | 解 剖 生 理 学 実 習 | 2 | | 福 祉 栄 養 学 実 習 | 1 | |
| | 栄 養 生 化 学 I | 1 | | 公 衆 栄 養 学 I | 2 | |
| | 栄 養 生 化 学 II | 1 | | 公 衆 栄 養 学 II | 2 | |
| | 化 学 実 習 | | 1 | 公 衆 栄 養 学 実 習 I | 1 | |
| | 生 化 学 実 習 | 2 | | 公 衆 栄 養 学 実 習 II | 1 | |
| | 基 礎 疾 病 学 I | 2 | | 食 糧 経 済 ・ 流 通 学 | 1 | |
| | 基 礎 疾 病 学 II | 2 | | 給 食 管 理 論 | 2 | |
| | 病 態 生 理 ・ 生 化 学 | 1 | | 経 営 管 理 学 | 1 | |
| | 病 態 栄 養 管 理 実 習 I | 1 | | 給 食 管 理 学 実 習 I | 1 | |
| | 病 態 栄 養 管 理 実 習 II | 1 | | 給 食 管 理 学 実 習 II | 1 | |
| | 病 理 学 | | 1 | 管 理 栄 養 士 特 別 演 習 I | 1 | |
| | 栄 養 微 生 物 学 | 2 | | 管 理 栄 養 士 特 別 演 習 II | 1 | |
| | 食 品 学 総 論 | 1 | | 管 理 栄 養 士 特 別 演 習 III | | 1 |
| | 食 品 学 各 論 | 1 | | 総 合 演 習 I | 1 | |
| | 食 品 学 実 習 | 2 | | 総 合 演 習 II | 1 | |
| | 食 品 栄 養 科 学 演 習 | 1 | | 卒 業 研 究 I | 2 | |
| | 食 品 機 能 科 学 | 1 | | 卒 業 研 究 II | 2 | |
| | 基 礎 調 理 学 | 1 | | 教 育 学 概 論 | 2 | |
| | 食 事 計 画 演 習 | 1 | | 教 師 論 | 2 | |
| | 基 礎 調 理 学 実 習 I | 1 | | 教 育 心 理 学 | 2 | |
| | 基 礎 調 理 学 実 習 II | 1 | | 特 別 支 援 教 育 論 | 1 | |
| | 食 品 衛 生 学 | 2 | | 教 育 課 程 論 | 2 | |
| | 食 品 衛 生 ・ 微 生 物 学 実 習 | 2 | | 道 徳 ・ 特 別 活 動 ・ 総 合 的 な 学 習 の 時 間 | 2 | |
| | 基 礎 栄 養 学 | 2 | | 教 育 の 方 法 と 技 術 （ 情 報 通 信 技 術 の 活 用 含 む ） | 2 | |
| | 基 礎 栄 養 学 実 習 | 1 | | 生 徒 指 導 論 | 2 | |
| | 治 療 栄 養 学 実 習 | 1 | | 教 育 相 談 基 礎 理 論 | 2 | |
| | 食 事 摂 取 基 準 論 | 2 | | 学 校 栄 養 教 育 実 習 | 2 | |
| | 成 長 期 栄 養 学 実 習 | 1 | | 教 職 実 践 演 習 （ 栄 養 教 諭 ） | 2 | |
| | ラ イ フ ス テ ー ジ 栄 養 学 | 2 | | 学 校 栄 養 教 育 指 導 論 I | 2 | |
| 応 用 栄 養 学 | 2 | | 学 校 栄 養 教 育 指 導 論 II | 2 | | |
| 運 動 栄 養 学 | | 1 | | | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|----------------|--------------------------|-----|-----------------|------------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 健康体育学科 | 医学概論 I | 2 | | バイオメカニクス論 | | 2 |
| | 医学概論 II | 1 | | 社会体育・レクリエーション論 | | 2 |
| | 生理学概論 | 2 | | 体育・スポーツ社会学 | | 2 |
| | 生化学概論 | 2 | | 体力測定法実習 B | | 2 |
| | 解剖学概論 | 2 | | スポーツ心理学 | | 2 |
| | 系統解剖学 | 2 | | 体育心理学 | | 2 |
| | 衛生学・公衆衛生学 | 2 | | 体育史 | | 2 |
| | リハビリテーション医学 | 2 | | 保健体育科教育法 A | | 2 |
| | 病理学 | 2 | | 保健体育科教育法 B | | 2 |
| | 内科学 I (呼吸器・循環器) | 2 | | 保健体育科授業研究 | | 1 |
| | 内科学 II (消化器・泌尿器・生殖器・感覚器) | 2 | | 体育指導演習 | | 1 |
| | 内科学 III (代謝・内分泌・血液) | 1 | | 体育指導法 A | | 1 |
| | 内科学 IV (皮膚科・感染症・高齢者) | 2 | | 体育指導法 B | | 1 |
| | 小児科学 | 1 | | 体育指導法 C | | 1 |
| | 産婦人科学 | 1 | | 保健科教育法概論 | | 2 |
| | 整形外科学 | 1 | | 保健指導法 | | 2 |
| | 神経学 | 1 | | 教育基礎論 | | 2 |
| | 精神医学 | 1 | | 教育学概論 | | 2 |
| | 環境害・中毒学 | 2 | | 教育師論 | | 2 |
| | 救命救助学 | 2 | | 教育心理学 | | 2 |
| | 救命救助指導法 | 1 | | 特別支援教育論 | | 1 |
| | 臨床スポーツ医学概論 | 2 | | 卒業研究基礎論 I | 1 | |
| | 体表解剖学 | 2 | | 卒業研究基礎論 II | 1 | |
| | 微生物学 | 2 | | 卒業研究 I | 2 | |
| | 運動薬物学 (薬理学を含む) | 2 | | 卒業研究 II | 2 | |
| | 精神保健学 | 2 | | 教育と社会・制度 | 2 | |
| | スポーツ障害対応論 | 2 | | 教育課程論 | 2 | |
| | 救命救急医学 | 2 | | 道徳教育の理論と方法 | 2 | |
| | 労働衛生学 | 2 | | 特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法 | 2 | |
| | 労働衛生学 | 2 | | 道徳・特別活動・総合的な学習の時間 | 2 | |
| | 労働法規 I | 2 | | 教育の方法と技術 (情報通信技術の活用含む) | 2 | |
| | 労働法規 II | 2 | | 生徒指導及び進路指導論 | 2 | |
| | 健康教育学 | 2 | | 生徒指導論 | 2 | |
| | 食生活論 (食品学を含む) | 2 | | 教育相談基礎理論 | 2 | |
| | 休養科学 | 2 | | 養護実習指導論 | 1 | |
| | 健康運動指導論 A | 2 | | 養護実習 | 4 | |
| | 健康運動指導論 B | 2 | | 教職実践演習 (養護教諭) | 2 | |
| | 学校保健 A | 2 | | 教育実習指導論 | 2 | |
| | 学校保健 B | 2 | | 教育実習 | 4 | |
| | 発育発達運動論 | 2 | | 教育実習 (高) | 2 | |
| | 健康免疫学 | 2 | | 教職実践演習 (中・高) | 2 | |
| | 健康体育英語 | 2 | | 特別支援教育概論 | 2 | |
| | 健康運動実技 A | 1 | | 肢体不自由児の心理・生理・病理 | 2 | |
| | 健康運動実技 B | 1 | | 病弱児の心理・生理・病理 | 2 | |
| | 運動処方演習実技 A | 2 | | 肢体不自由教育論 I | 2 | |
| | 運動処方演習実技 B | 2 | | 肢体不自由教育論 II | 2 | |
| | 保健看護学概論 | 2 | | 病弱教育論 I | 2 | |
| | 看護病態学 | 1 | | 病弱教育論 II | 2 | |
| | 生涯保健看護学 A | 2 | | 肢体不自由教育総論 | 2 | |
| | 生涯保健看護学 B | 2 | | 病弱教育総論 | 2 | |
| 養護活動論 | 2 | | 障害児の心理・生理・病理 I | 1 | | |
| 基礎看護技術 | 2 | | 障害児の心理・生理・病理 II | 1 | | |
| 健康相談活動の理論及び方法 | 2 | | 障害児教育論 I | 1 | | |
| ふれあい援助実習 | 1 | | 障害児教育論 II | 1 | | |
| 体力育成論 | 2 | | 障害児教育総論 | 2 | | |
| 体力測定方法論 | 2 | | 特別支援教育実習 | 3 | | |
| 体力測定法実習 A | 2 | | 救急救命システム論 | 2 | | |
| 運動生理学 | 2 | | 救急救命活動学 | 2 | | |
| 運動栄養学 | 2 | | 病態生理学 | 2 | | |
| 体育原理解 | 2 | | 症候総論 | 2 | | |
| 運動学 (運動方法学を含む) | 2 | | 内傷科総論 | 2 | | |
| 運動学実技 A | 1 | | 外傷救急医学総論 | 2 | | |
| 運動学実技 B | 1 | | 外傷救急医学各論 | 2 | | |
| 運動学実技 C | 1 | | 外科学総論 | 2 | | |
| 運動学実技 D | 1 | | シミュレーション I | 2 | | |
| 運動学実技 E | 1 | | シミュレーション II | 2 | | |
| 運動学実技 F | 1 | | シミュレーション III | 4 | | |
| 運動学実技 G | 1 | | シミュレーション IV | 2 | | |
| 運動学実技 H | 1 | | シミュレーション V | 4 | | |
| 運動学実技 I | 1 | | 救急救命システム実習 | 1 | | |
| 障害者スポーツ論 | 2 | | 病院実習 | 4 | | |
| 運動生化学 | 2 | | 救急車同乗実習 | 3 | | |
| 運動適応学 | 2 | | | | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|--------------|-------------------------|-----|-------------|--------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 医療データサイエンス学科 | 医 学 概 論 | 2 | | エンドユーザコンピューティング | 2 | |
| | 人 体 構 造 ・ 機 能 論 | 2 | | 運用サービスマネジメント | 2 | |
| | 医 学 用 語 | 2 | | 臨床医学演習 A | 1 | |
| | 医 療 関 係 法 規 | 2 | | 臨床医学演習 B | 1 | |
| | 医 療 管 理 論 | 2 | | 臨床医学演習 C | 1 | |
| | 臨 床 医 学 A | 2 | | 臨床医学演習 D | 1 | |
| | 臨 床 医 学 B | 2 | | 臨床医学演習 E | 1 | |
| | 診 療 情 報 管 理 論 | 2 | | 医療管理演習 | 1 | |
| | 診 療 報 酬 事 務 論 | 2 | | 診療情報管理演習 I | 1 | |
| | 診 療 報 酬 事 務 演 習 I | 2 | | 診療情報管理演習 II | 1 | |
| | 病 院 情 報 シ ス テ ム 論 | 2 | | 国 際 統 計 分 類 | 2 | |
| | 病 院 情 報 シ ス テ ム 演 習 | 1 | | 国 際 統 計 分 類 演 習 I | 1 | |
| | 医 療 福 祉 マ ネ ジ メ ン ト 総 論 | 2 | | 国 際 統 計 分 類 演 習 II | 1 | |
| | 情 報 通 信 倫 理 | 2 | | 医療情報学概論 | 2 | |
| | 情 報 処 理 演 習 | 2 | | 医療情報システム概論 | 2 | |
| | プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 演 習 | 1 | | 医療情報学研究法 | 2 | |
| | シ ス テ ム 管 理 実 験 | 2 | | 医療情報セキュリティ | 2 | |
| | 基 礎 情 報 数 学 演 習 | 1 | | コミュニケーションと組織行動学 | 2 | |
| | 応 用 情 報 数 学 演 習 | 1 | | パブリックヘルス | 2 | |
| | 基 礎 統 計 学 | 2 | | 医用画像情報 | 2 | |
| | ソ フ ト ウ ェ ア 開 発 演 習 I | 1 | | 医療データ分析演習 | 1 | |
| | ソ フ ト ウ ェ ア 開 発 演 習 II | 1 | | 医療統計学 | 2 | |
| | ソ フ ト ウ ェ ア 開 発 演 習 III | 1 | 1 | 医療データマネジメント演習 | 1 | |
| | ア ル ゴ リ ズ ム と デ ー タ 構 造 | | 2 | 実 習 概 論 | 2 | |
| | デ ー タ ベ ー ス 演 習 I | 1 | | 病 院 実 習 | 2 | |
| | デ ー タ ベ ー ス 演 習 II | 1 | | 学 外 実 習 | 2 | |
| | デ ー タ ベ ー ス 演 習 III | | 1 | イ ン タ ー ン シ ッ プ | 1 | |
| | デ ー タ ベ ー ス 演 習 IV | | 2 | 情 報 と 職 業 | 2 | |
| | シ ス テ ム 開 発 論 | | 2 | 情 報 と 社 会 演 習 A | 1 | |
| | ソ フ ト ウ ェ ア 工 学 | 2 | | 情 報 と 社 会 演 習 B | 1 | |
| | 情 報 技 術 総 合 演 習 | 2 | | 基 礎 ゼ ミ I | 1 | |
| | ネ ッ ト ワ ー ク I ・ 同 実 験 | 4 | | 基 礎 ゼ ミ II | 1 | |
| | ネ ッ ト ワ ー ク II ・ 同 実 験 | | 4 | 卒 業 研 究 I | 2 | |
| | 情 報 セ キ ュ リ テ ィ ・ 同 実 験 | | 4 | 卒 業 研 究 II | 2 | |
| 意 思 決 定 論 | | 2 | 卒 業 研 究 III | 2 | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|-----------------------|-------------------------|-----|----------------------|--|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 医療コミュニケーション学科 | 医 学 概 論 | 2 | | ビ ジ ネ ス 関 係 法 規 | 2 | |
| | 人 体 構 造 ・ 機 能 論 | 2 | | 医 療 文 書 管 理 | 2 | |
| | 医 学 用 語 | 2 | | 医 療 文 書 管 理 演 習 | 1 | |
| | 臨 床 医 学 A | 2 | | 心 理 学 概 説 | 2 | |
| | 臨 床 医 学 B | 2 | | 対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 | 2 | |
| | 情 報 通 信 倫 理 | 2 | | 対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 演 習 | 1 | |
| | 病 院 情 報 シ ス テ ム 論 | 2 | | 経 営 学 概 論 | 2 | |
| | 病 院 情 報 シ ス テ ム 演 習 | 1 | | 経 営 管 理 論 | 2 | |
| | 医 療 福 祉 マ ネ ジ メ ン ト 総 論 | 2 | | 組 織 行 動 論 | 2 | |
| | 医 療 管 理 論 | 2 | | 簿 記 | 2 | |
| | 診 療 報 酬 事 務 論 | 2 | | 簿 記 演 習 | 1 | |
| | 診 療 報 酬 事 務 演 習 I | 2 | | ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 演 習 (英 語) I | 1 | |
| | 診 療 情 報 管 理 論 | 2 | | ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 演 習 (英 語) II | 1 | |
| | 医 療 関 係 法 規 | 2 | | 医 療 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 演 習 (英 語) | 1 | |
| | 臨 床 医 学 演 習 A | 1 | | オ ー ラ ル ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (英 語) I | 2 | |
| | 臨 床 医 学 演 習 B | 1 | | オ ー ラ ル ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (英 語) II | 2 | |
| | 臨 床 医 学 演 習 C | 1 | | 異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 | 2 | |
| | 臨 床 医 学 演 習 D | 1 | | 日 本 文 化 論 | 2 | |
| | 臨 床 医 学 演 習 E | 1 | | 比 較 文 化 論 | 2 | |
| | 臨 床 薬 理 学 | 2 | | 統 計 学 基 礎 | 2 | |
| | 社 会 保 障 論 | 2 | | 医 療 統 計 学 | 2 | |
| | 医 療 組 織 論 | 2 | | 医 療 情 報 シ ス テ ム 概 論 | 2 | |
| | 医 療 法 人 会 計 論 | 2 | | 国 際 統 計 分 類 | 2 | |
| | 医 療 サ ー ビ ス 論 | 2 | | 診 療 情 報 管 理 演 習 I | 1 | |
| | 医 療 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク | 2 | | 診 療 情 報 管 理 演 習 II | 1 | |
| | 診 療 報 酬 事 務 演 習 II | 1 | | 医 療 管 理 演 習 | 1 | |
| | 基 礎 ゼ ミ | 2 | | 国 際 統 計 分 類 演 習 I | 1 | |
| | 日 本 語 表 現 応 用 | 2 | | 国 際 統 計 分 類 演 習 II | 1 | |
| | 医 療 秘 書 学 概 論 | 2 | | 実 習 概 論 | 2 | |
| | オ フ ィ ス ス タ デ ィ | 2 | | 学 外 実 習 I | 2 | |
| | 医 療 秘 書 機 能 論 | 2 | | 学 外 実 習 II | 2 | |
| | 医 療 秘 書 機 能 演 習 | 2 | | 学 外 実 習 III | 2 | |
| | 医 療 秘 書 学 研 究 法 | 2 | | 海 外 実 習 | 2 | |
| | 情 報 処 理 演 習 | 1 | | 医 療 秘 書 学 総 合 演 習 I | 1 | |
| プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 演 習 | 1 | | 医 療 秘 書 学 総 合 演 習 II | 1 | | |
| デ ー タ ベ ー ス 演 習 | 2 | | 卒 業 研 究 I | 2 | | |
| 文 献 情 報 学 | 2 | | 卒 業 研 究 II | 2 | | |

| 学科等の名称 | 授 業 科 目 | 単 位 | | 授 業 科 目 | 単 位 | |
|----------------|---------------------|-----|----|--------------------|-----|----|
| | | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 医療福祉 デザイン学科 | 医 学 概 論 | 2 | | デ ッ サ ン I | 2 | |
| | 人 の デ ザ イン I | 2 | | デ ッ サ ン II | 2 | |
| | 人 の デ ザ イン II | 2 | | ベーシックデザイン I | 2 | |
| | 人 の 病 気 I | 2 | | ベーシックデザイン II | 2 | |
| | 人 の 病 気 II | 2 | | ベーシックデザイン III | 2 | |
| | 人 の ケ ア I | 2 | | 表 現 と デ ザ イン I | 2 | |
| | 人 の ケ ア II | 2 | | 表 現 と デ ザ イン II | 2 | |
| | 医 療 福 祉 と デ ザ イン I | 2 | | 表 現 と デ ザ イン III | 2 | |
| | 医 療 福 祉 と デ ザ イン II | 2 | | メディカルドローイング | 2 | |
| | 医 療 情 報 学 概 論 | 2 | | コンピュータグラフィックス | 2 | |
| | 医 療 経 営 論 | 2 | | グラフィックデザイン | 2 | |
| | 現 代 社 会 と 福 祉 | 2 | | 医療福祉デザイン演習 I | 2 | |
| | 介 護 概 論 | 2 | | 医療福祉デザイン演習 II | 2 | |
| | 社 会 保 障 論 | 2 | | 医療福祉デザイン演習 III | 2 | |
| | 地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法 | 2 | | 印 刷 ・ 写 真 表 現 | 2 | |
| | 発 達 障 害 と 支 援 | 2 | | 材 料 演 習 | 2 | |
| | 学 外 実 習 概 論 I | 1 | | W E B デ ザ イン | 2 | |
| | 学 外 実 習 概 論 II | 2 | | ホスピタルイラスト | 2 | |
| | 学 外 実 習 I | 3 | | プロダクトデザイン | 2 | |
| | 学 外 実 習 II | 3 | | 3 D グ ラ フ ィ ッ ク ス | 2 | |
| | 学 外 実 習 III | 2 | | ビジュアルプレゼンテーション | 2 | |
| | 医 療 福 祉 デ ザ イン 概 論 | 2 | | 住 環 境 デ ザ イン | 2 | |
| | ユニバーサルデザイン論 | 2 | | 医 療 福 祉 情 報 デ ザ イン | 2 | |
| | 色 彩 と デ ザ イン 心 理 | 2 | | 医 療 福 祉 施 設 デ ザ イン | 2 | |
| | 医 療 福 祉 施 設 概 論 | 2 | | ホスピタルデザイン | 2 | |
| | 人 間 工 学 | 2 | | ビジュアルコミュニケーションデザイン | 2 | |
| | 医 療 デ ザ イン 総 論 | 2 | | メディカルイラスト | 2 | |
| | インテリアコーディネート | 2 | | 卒 業 研 究 I | 3 | |
| | プロジェクトマネジメント | 2 | | 卒 業 研 究 II | 3 | |

別表 1 - (3) 教職科目

| 学科等の名称 | 授業科目 | 単位 |
|------------------------------|-----------------------|----|
| 医療福祉学部 ・医療福祉学科 | 教 育 基 礎 論 | 2 |
| | 教 育 学 概 論 | 2 |
| | 教 師 論 | 2 |
| 医療技術学部 ・臨床栄養学科 ・健康体育学科 | 教 育 と 社 会 ・ 制 度 | 2 |
| | 教 育 心 理 学 | 2 |
| | 特 別 支 援 教 育 論 | 1 |
| | 教 育 課 程 論 | 2 |
| | 教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む） | 2 |
| | 道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法 | 2 |
| | 特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法 | 2 |
| | 道徳・特別活動・総合的な学習の時間 | 2 |
| | 生 徒 指 導 及 び 進 路 指 導 論 | 2 |
| | 生 徒 指 導 論 | 2 |
| | 教 育 相 談 基 礎 理 論 | 2 |
| | 教 育 実 習 指 導 論 | 2 |
| | 小学校教育実習（事前事後指導を含む。） | 4 |
| | 教 育 実 習 | 3 |
| | 教 育 実 習 | 4 |
| | 教 育 実 習 （ 高 ） | 2 |
| | 養 護 実 習 指 導 論 | 1 |
| | 養 護 実 習 | 4 |
| | 学 校 体 験 活 動 | 1 |
| | 教 職 実 践 演 習 （ 小 ） | 2 |
| 教 職 実 践 演 習 （ 中 ・ 高 ） | 2 | |
| 教 職 実 践 演 習 （ 栄 養 教 諭 ） | 2 | |
| 教 職 実 践 演 習 （ 養 護 教 諭 ） | 2 | |
| 学 校 栄 養 教 育 実 習 | 2 | |

別表1－(4) 教職科目

| 学科等の名称 | 授業科目 | 単位 |
|-------------------|-------------------|----|
| 医療福祉学部 ・医療保育学科 | 教育基礎理論 | 2 |
| | 教職概論 | 2 |
| | 子どもの教育制度 | 2 |
| | 発達心理学 | 2 |
| | 学習心理学 | 2 |
| | 特別な教育的ニーズの理解とその支援 | 1 |
| | カリキュラム編成論 | 2 |
| | 教育方法の理論と実践 | 2 |
| | 幼児理解の理論と方法 | 2 |
| | 教育相談 | 2 |
| | 教育実習指導 | 1 |
| | 教育実習 | 4 |
| | 教職実践演習(幼稚園) | 2 |

別表2 卒業に必要な単位数

| 区 分 | | 基礎教育科目 | 専門科目 | 卒業単位 | 備 考 |
|------------------|---------------|---------|---------|----------|-----|
| 医療福祉学部 | 医療福祉学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 臨床心理学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 医療保育学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| 保健看護学部 | 保健看護学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| リハビリテーション学部 | 理学療法学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 作業療法学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 言語聴覚療法学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 視能療法学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| 医療技術学部 | 臨床検査学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 診療放射線技術学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 臨床工学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 臨床栄養学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 健康体育学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| マネジメント学部 医療福祉 | 医療データサイエンス学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 医療コミュニケーション学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | 医療福祉デザイン学科 | 26 単位以上 | 98 単位以上 | 124 単位以上 | |